

宗像市の将来像

【宗像市総合計画】

『心地よい生活空間の中で、
誰もが安心して住み続けられるまち』

【宗像市都市計画マスタープラン】

『コンパクトで魅力的な地域が
ネットワークする生活交流都市』



宗像市の計画

第3次宗像市総合計画(策定中)

- ・様々な主体と連携した効率的交通ネットワークの構築
- ・公共交通を補完する移動サービスの導入検討
- ・交通結節点の環境整備やMaaSの推進
- ・狭隘道路の拡幅や安全対策の推進
- ・広域連絡道路・都市幹線道路等の整備推進
- ・公共インフラの長寿命化や集約・再編
- ・ユニバーサルデザイン推進〔歩道・自転車走行空間〕

都市計画マスタープラン(策定中)・立地適正化計画(改訂中)

- ・多極連携集約型都市構造〔中心・地域・生活拠点〕
- ・広域連絡道路整備〔東西・南北交流軸〕
- ・都市内幹線道路整備〔分散市街地を結ぶ道路強化〕
- ・その他道路整備〔生活道路、歩行者・自転車NW〕
- ・安全・安心〔避難経路、緊急輸送、延焼防止等〕
- ・ユニバーサルデザインのまちづくり
- ・交通弱者に配慮した公共交通ネットワーク

宗像市地域公共交通計画(改訂中)

- ・広域交通：市外及び県外への広域的な移動を支援
- ・幹線交通：中心拠点と地域拠点の移動を支援
- ・支線交通：主要交通結節点や乗継拠点の連絡

宗像市地域防災計画(R6.8)

- ・幹線道路：緊急輸送路や延焼防止、歩道確保等
- ・生活道路：避難活動や緊急車両の通行確保、狭隘道路解消、歩道整備等

宗像市雨に強いまちづくりビジョン(R6.3)

- ・緊急輸送道路等の整備水準：許容浸水深10cm

国・県の計画

九州地方新広域道路交通ビジョン(R3.7)/福岡県新広域道路交通ビジョン(R3.6)

- ・段階的なネットワークによる連携強化
- ・災害時にも機能する道路網確保

2040年、道路の景色が変わる～人々の幸せにつながる道路～(2020.6)

- ・マイカーに依存しない新たなモビリティ(MaaS)
- ・安全で快適に移動・滞在できるユニバーサルデザイン〔人と車両が空間をシェアし、交通事故のない生活〕
- ・賑わいに溢れたコミュニティ空間(ウォークアブル)
- ・持続可能な物流システム(自動物流道路)
- ・耐災害性を備えた幹線道路ネットワーク

道路交通の現状と課題

●道路交通網

- ・東西：広域幹線(国道3号、国道495号、JR鹿児島本線)
- ・市街地：JR鹿児島本線を囲むラダー型道路網

●国県道の整備状況

- ・概ね改良済(2車線以上、幅員5.5m以上)

●都市計画道路の整備状況

- ・整備率：約87%、**長期未着手路線・区間が点在**

●国県道の道路構造

- ・市街地：歩道代表幅員が**2.0m程度と狭い**

●交通量・混雑度

- ・**主要渋滞箇所**：国道3号光岡交差点
- ・**混雑度1.0超**：国道3号〔武丸〕、宗像若宮線〔田久〕
- ・大型車交通量：国道3号では5,000台/日超

※センサス観測地点が少ないため別途調査を実施予定

・渋滞感が高い箇所(速度水準が低い箇所)

：旧国道3号〔赤間・東郷駅周辺、東郷橋前後区間〕

●旅行速度

- ・市街地内区間を中心に**低い速度サービス**

●交通事故

- ・国道3号、旧国道3号に集中、**朝野団地入口：ワースト2位**

●道路冠水

- ・豪雨時には**赤間、東郷、河東地区を中心に道路冠水**

●拠点アクセス性・拠点連絡性

- ・分散した市街地と中心拠点間の**連絡速度に格差**
- ・国道3号沿道の他市町に比べて**低い高速ICアクセス**

道路網整備に係る基本理念



道路網整備に係る基本方針



《前計画における幹線道路網整備方針》

- 観光交通への対応(観光軸の整備)や市街地連絡道路の強化
- 混雑箇所・区間の解消
- 歩行者・自転車ネットワークの形成
- 広域ネットワークへのアクセス性向上

施策のトピックス(例示)

- MaaS〔新たなモビリティサービス〕
- ユニバーサルデザインの道路整備
- ウォークアブルなまちづくり
- 自動運転の推進に向けたインフラ整備
- 自動物流道路
- バスタ〔集約型の公共交通ターミナル〕
- 官民連携〔PPP/PFI〕

等